

週間感染症情報

2017年15週 2017年10月3日より2017年4月16日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	17
ムンプス(おたふくかぜ)	3
百日咳	
溶連菌感染症	5
手足口病	4
ヘルパンギーナ	1
伝染性紅斑	1
感染性胃腸炎	47
ロタウイルス(再掲)	4
便アデノウイルス(再掲)	1
突発性発疹	
伝染性膿痂疹(とびひ)	6
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	2
RSウイルス感染症	
マイコプラズマ感染症	3
インフルエンザ(臨床診断含む)	34
インフルエンザA	20
インフルエンザB	13
A+B	

5月16日は当番医でした。小児科32人 内科13人 計45人でした。インフルエンザは、6ヶ月のA型が1例のみでした。15週のインフルエンザの報告はさらに減少して34例でした。A型20例、B型13例で、家族例や感染源不明が多いです。16週(4/20まで)はA型5例、B型5例計10例でさらに減少しています。しかし、今シーズン流行のなかった施設ではインフルエンザウイルスが持ち込まれると小流行が起こる可能性があります。もうしばらく注意が必要です。

水痘は、17例の内13例が市内保育園児と同園を卒園した新1年生でした。4歳児と5歳児で3月中旬より流行しています。多くがワクチン1回接種済みで軽症でした。1歳～2歳児は定期接種で無料です。早めの2回目の接種が必要です。

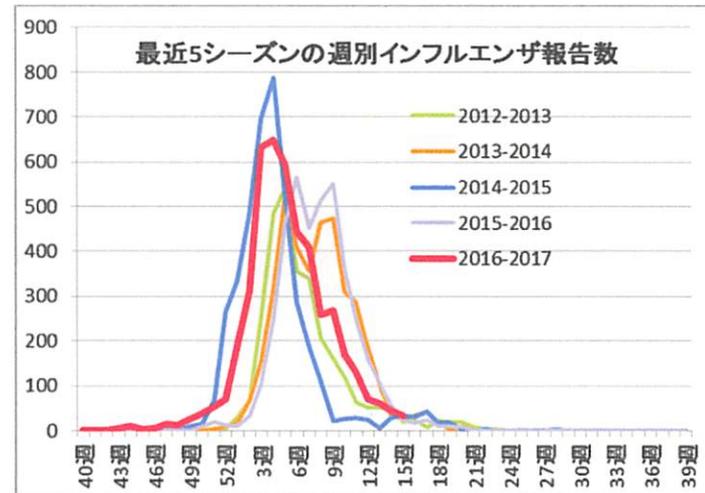
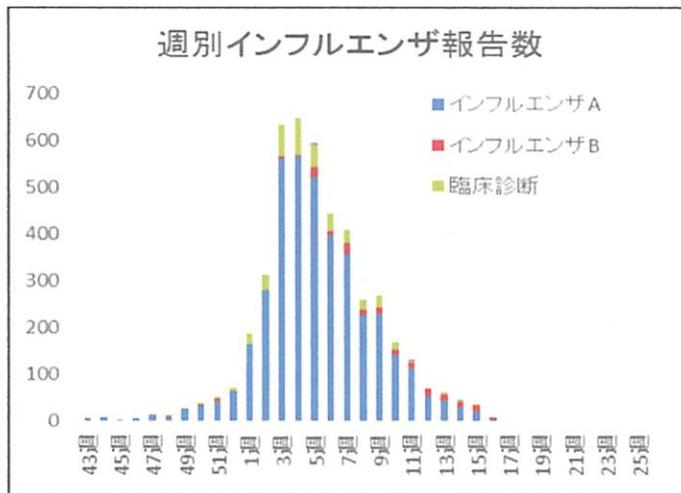
ムンプスは岡山市内の保育園2歳児が2例、市内小学3年(8歳)です。

手足口病は市内保育園0から1歳児のクラスで流行しています。高熱と発疹が多いタイプです。

ヘルパンギーナは市内保育所1歳児です。手足口病やヘルパンギーナなどの夏のウイルス性疾患を見かけるようになりました。

感染性胃腸炎は13週より50例前後の報告が続いています。焼肉関連のカンピロバクターの報告が3例ありました。

ロタウイルスは嘔吐と発熱を認め重症感がありますが、アデノウイルスは嘔吐がなく下痢のみが続く軽症例が多いようです。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)